

令和元年度 学校評価書

大津市立石山小学校

大津市の6つのキーワード

1. 主体的・対話的で深い学び 2. 道德教育の充実 3. 体力づくり 4. 指導改善(組織的・計画的) 5. 育ちと学びを支える連携 6. 組織的体制の充実

学校目標

「明朗 健康 自主自立」

今年度の重点目標

1. 基礎学力を確実に定着させる 2. 人間関係形成力を育成する 3. 運動習慣を育成する 4. ふるさと石山を醸成する

大項目	中項目	小項目	令和元年度		現況	評価	ご意見
			小項目の平均	中項目の評価			
主体的・対話的で深い学び	学級・学年づくり	学級目標を設け、支持的風土を育てる学級・学年集団づくりを実践しているか	2.2	2.2	年間を通じて、全学級で「ふわふわ言葉」集めを行い、思いやりのある温かい雰囲気学級集団づくりを努めている。毎学期、FBC(ふわふわ言葉)が1つ以上のBESTなCLASS賞の発表を行い、子どもの意識を高めた。平成30年度から市の学習定着プログラムを実施し、その結果分析から改善に向けた研修を実施している。また、ステップアップ教室の実施や社会福祉協議会の寺子屋とも連携し、基礎学力の向上を図った。また、授業の中に話し合い活動を位置づけ、コミュニケーション力の育成に努めている。	2.7	・少人数やグループ学習など、学年の発達段階に合わせて工夫した授業をされている状況を参観させていただきました。 ・個々の取り組みについてはよく分からない所もありますが、様子を見てもらっていると、よく取り組んでいたと思います。 ・ステップアップ教室など、授業以外の勉強できる場所があるのは良いことで、ありがたいと思います。 ・クラスの中では聞けず遊んでいる所も、聞ける場があるのは良いですね。 ・学習テストの成績が、福井県など北陸地域との差が大きくなるように思うが、この差を動いていけるのではどうか。 ・現状を見るという工夫をされていると思います。 ・寺子屋で低学年の学習内容を見せていただいたが、数年前より確実に難しくなっていて、学校の中だけの学習で大丈夫なのかと心配になりました。 ・前提的に非常に良いと思う。先生が子どもと一緒に授業を楽しんでいる。
		基本的生活習慣と学習のきまりの定着を図ることができたか	2.2				
		心の居場所づくりができていますか	2.3				
	基礎・基本の習得	学習習慣や基礎・基本的な学習内容を確実に身に付けさせているか	2.0	2.1		2.7	
コミュニケーション能力の育成に努めているか		2.2					
家庭学習を習慣化させることで、確かな学力の定着と向上を図れているか		2.0					
道德教育の充実	資料の整備、充実と活用	生命を尊重する心や人権尊重などの道德的実践力を育てる活動の実施に努めているか	2.3	2.1	地域のご協力の下、町探検やお店調べ、このほり制作、昔の暮らしなど、充実した体験学習を実施することができた。今後も地域の人も・自然とのふれあいを大切に教育活動を推進し、ふるさと石山の意識を醸成していく。特別の教科道徳については、昨年度実施した道徳の研修を元に、今年度は実践を踏まえた研修が必要であったが、各学年の実践を交流するまでには至らなかった。次年度に向けた年間計画の作成に合わせて研修を行ってきたい。	2.4	・学習参観の授業を工夫するなど、人権感覚を培っていき取り組みを保護者の方々と一緒に進められる機会はあるのでしょうか。 ・道徳が授業・教科として入ってくるのは大変だと思います。 ・地域との連携ができていけるのは素晴らしい学校だと思います。 ・人間としての教育は良くされていると思います。人間としての成長が将来楽しみです。 ・個性的な子どもも多くいる中、感性主体での道徳教育は難しく、大変かと思えます。
		道徳教育推進教員を中心として、道徳の授業研究や資料の開発・交流を行っているか	1.8				
		児童の感性や言葉の力を育む読書の推進が図れたか	2.1				
	体験活動(感動体験)	地域資源の教材化や人材活用・外部講師の招聘などによる体験活動の充実が図られているか	2.2	2.2		2.8	・画一的にならない工夫が求められている。 ・子どもたちは、地域の中で親以外の大人たちに接することも多いと思います。元気な声であいさつしてくれています。
活動前・中・後の指導の充実に努めたか		2.2					
豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力の基盤、子どもの成長の糧として役割が果たしているか		2.1					
体力づくり	体力づくりの取り組みと工夫	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に努めているか	2.1	2.1	陸上記録会や運動会に向けた取組、ラダー大会の開催など、学校行事との連携を図りながら児童の運動に向かう意欲の向上を図ってきた。子どもたちの体力向上に向けた日常の授業改善や継続的な活動では、一層の工夫が必要である。食育では、給食時間の放送で児童の委員会による活発な活動が行われた。児童のアレレギーや病気にについては、保護者と密接に連絡を取りながら、職員間で情報を共有し、児童の健康・安全を守る体制づくりを行った。	2.6	・外で元気に遊ぶ子どもが増えることはいいことですね。ラダーは良い家だと思います。 ・アレレギーの子どもに対しては、大変だと思いますが、安全第一でお願いします。 ・ラダー大会など子どもたちが楽しんで体を動かす取り組みをされています。
		進んで自分の体を鍛えようとする環境づくりができたか(体育の宿題・ラダー等)	2.1				
		運動の楽しさを味わい、進んで運動に関心する児童が増えたか	2.1				
	食育・保健・安全指導	食に対する正しい知識や関心の育成が図られているか	1.9	2.0		2.7	
健康な生活の習慣化を行うことができたか		1.9					
平素から学校全体で安全管理、安全教育、健康指導の充実、徹底が図られているか		2.2					
指導改善(組織的・計画的)	校内研究	学びの自覚を促し、主体的な学びを生み出す授業改善ができたか	2.3	2.3	児童が協働しながら主体的に学びを深める授業づくりを目指し、各学年で研究授業を行った。主体的な学びを生み出す授業については、児童の話し合い活動を重視した研究会を行い授業改善に努めた。学年の子どもたちを多くの教員で見ているという意識で教科担任制や少人数学習、入り授業を行い、協力的な指導を充実させた。デジタル教科書やタブレットなど、ICT機器の活用も定着している。教職員の働き方改革については、行事や業務の精選・保護者や地域との連携を図りながら更なる推進を図っていく必要がある。	2.8	・働き方改革については、労働者にとっては大切な事だが、学校の子どもの多様化した問題点を見と難しく。 ・職員間での連携されているお話を聞き、また、日頃から様子を見させていだき安心していただけます。 ・プログラミング学習の導入と合わせ、読書など活字に触れる時間もほしいと感じます。 ・パソコンも新しくなり一人一台使えるようになり良いことだと思います。プログラミングも楽しめず。 ・学年によってはクラスによって学力の差があるように思いますがいかがでしょうか。 ・多忙科の解消と地域との連携・協力がつながるといいですね。 ・学校力アップは人がすべてだと思います。 ・教育活動の室の改善に向けた精査は悩ましい課題です。 ・働き方改革に向けて、石山学区の校園・地域全体で取り組みができませんか。
		ICT活用による校務の効率化と教育活動の質の改善に努めたか	2.2				
		指導力向上のために校内研究や校外での研修会への参加を積極的に行っているか	2.3				
	学年担任制	教員との人間関係の広がりや学習の深まりによる子どもたちの成長が見られたか	2.3	2.3		2.8	
		教員のチーム意識が高まり、多面的な児童理解に基づく組織的・協力的な指導が充実できたか	2.5				
		教員の専門性や持ち味を生かし、質の高い指導ができたか	2.0				
働き方	校務の効率化など多忙化解消の取組と教育活動の質の改善ができたか	1.9	1.9		2.0		
育ちと学びを支える連携	家庭・地域との連携	保護者の子育てに対する支援や悩みを聞く教育相談を実施しているか	2.5	2.5	子どものよりよい成長を願う共通した思いを土台として、生徒指導、いじめ対応、教育相談、PTA活動等を保護者とのつながりを大切にできた。今後も保護者の不安や相談に誠実に対応していきたい。保幼小中の連絡を密接に取り合い、縦のつながりを意識した課題解決やスームズな接続ができるよう努めた。合同の研修会授業参観も行った。職員同士の交流をさらに広げていきたい。	2.7	・保幼小中の連携は積極的に実施してくださっていることで、異年齢の育ち合いが見られ、大変良い取組で、継続していただきたいです。 ・今は保護者さんとの関係が大変かと思えます。夜に寝ていなくて、朝学校に来てから寝ている子どもはいないでしょうか。 ・保幼小中の連携は素晴らしいですね。 ・地域懇談会の時に、先生、保護者の方々も熱心に地域での安全などに取り組んでいることが分かりました。 ・地域の人間としてもっと協力していかなければと考えさせられました。 ・幼小合同研究の中で、互いの子どもの様子や教育について相互理解はできてきたが、スタートレックなど、教育課程の校務研究は進んでいない現状である。
		保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会を実施しているか	2.5				
		保護者(PTA)・地域と連携を取りながら、安心・安全な学校作りを目指しているか	2.4				
	保幼小中の連携	子どもの校種間交流や教員の出前授業等実施できているか	2.4	2.5		2.8	
校種間の定期的な連絡会や合同研修会を実施しているか		2.6					
校種間の授業公開や一貫的なカリキュラム研究・体力向上の取り組みなどを積極的に進めているか		2.3					
組織的体制の充実	生徒指導・教育相談機能の確立	石山小のあいこばを共通理解、共通実践できているか	2.6	2.6	生徒指導、いじめ対策、教育相談等の担当者、管理職、養護教諭がそれぞれの立場から積極的に児童と関わり共に保護者との連携強化に努めている。個別の事案に対しては、関係機関やSOSとの連携を図りながら個に応じた丁寧な対応が必要である。特別な支援を必要とする児童についても、関係機関との連携のもと支援方法などを考え、関係者で共通理解していくことに努めている。今後も引き続き、保護者との情報交換やきめ細かい支援を心がけていきたい。	2.7	・校長先生を中心として、学校全体の団結力を感じさせてもらっています。 ・少しでも相手がいやがればいじめになるので、なかなかOはならないですが、相手を思いやる心の大切さを教えていただいていると思います。 ・スマホの低年齢化は大変ですね。 ・校長先生など、運動会はもちろん音楽会、発表会などを通して子どもの様子を見ていただけることは子ども、保護者にとって、安心につながっていると思います。日常の姿を是非日常的に見ていただければと思います。 ・子どもたちが学校に来るのが本当に楽しみにしているように思った。 ・先生が子どもたちを導いて教えているように感じました。
		生徒指導、いじめ対策の組織的な対応と継続的な指導ができていますか	2.6				
		SOS関係機関と連携した教育相談の充実ができていますか	2.7				
		保護者と連携し、個別指導計画の作成が適切になされているか	2.3				
特別支援教育の充実	組織的・計画的な特別支援教育体制が確立されているか	2.3	2.3		2.8		
	関係機関と連携した相談体制の充実が図られているか	2.4					
	関係機関と連携した相談体制の充実が図られているか	2.4					
学校満足度	学校は楽しいですか						

※評価は、「3」..よくあてはまる 「2」..あてはまる 「1」..あまりあてはまらない 「0」..あてはまらない